

令和3年度 日本社会薬学会 九州支部 講演会 報告

令和4年2月19日(土)に、令和3年度日本社会薬学会九州支部講演会をオンライン(Zoom)により実施いたしました。日本社会薬学会九州支部長 入倉 充 教授より、ご挨拶をいただき、司会・進行は日本社会薬学会九州支部事務局 大光 正男が務めました。演題：「薬局来局者に向けた家庭用心電計を用いた健康啓発事業」について、一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事 東京大学大学院薬学系研究科 医薬政策学講座 特任研究員 岡崎 光洋 先生にご講演いただきました。

最初にスマートヘルスケア協会の取り組み状況である未病対策・健康増進のために、薬局等を活用した健康応援プログラムの作成や研修会を実施している教育機関としての活動状況を先ずご紹介いただき、健康増進に関する施策、脳卒中・循環器病対策基本法に関してご説明いただき、心房細動による心原性脳梗塞症の予防について「健康寿命」延伸のために早急に取り組むべき課題等についてわかりやすくご講演いただきました。

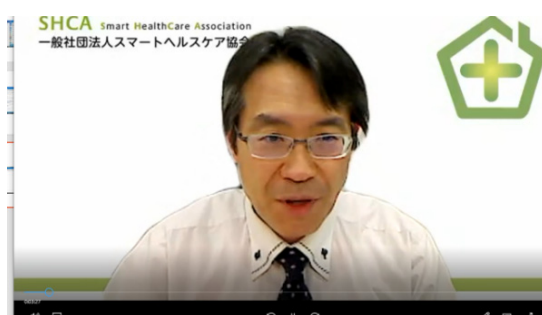
また、今後の取り組みとして、健康寿命延伸を図るための施策に基づいた家庭用心電計を用いた健康啓発事業に関する啓発活動の現状から進捗状況まで事例を踏まえて具体的にご講演いただきました。活発な討議もあり、大変参考になる内容で有意義な講演会となりました。



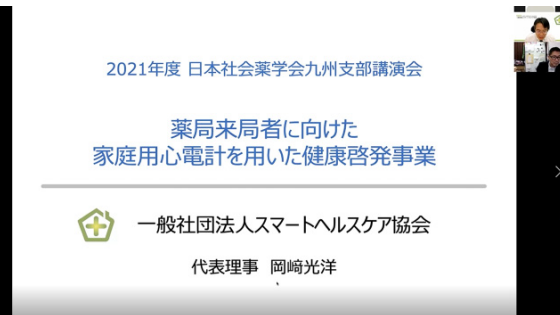
【日本社会薬学会九州支部長: 入倉 充 教授】



【司会・進行: 大光 正男】



【演者: 岡崎 光洋 先生】



日本社会薬学会九州支部 支部長 入倉 充
日本社会薬学会九州支部 事務局長 吉武 毅人
日本社会薬学会九州支部 事務局 大光 正男